



平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月18日

上場会社名 スリープログループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2375 URL <http://www.threepro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 関戸 明夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 C F O (氏名) 肥田 理 TEL (03)-6832-3260
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月18日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第1四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	2,156	△5.9	49	△31.8	53	△22.3	39	△24.1
25年10月期第1四半期	2,290	△4.6	72	15.3	68	△40.4	51	△43.1

(注) 包括利益 26年10月期第1四半期 38百万円(△44.5%) 25年10月期第1四半期 69百万円(△26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	7 57	—
25年10月期第1四半期	9 97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第1四半期	3,230	1,328	41.1
25年10月期	3,376	1,289	38.2

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 1,327百万円 25年10月期 1,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
26年10月期	0.00				
26年10月期(予想)		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	△2.2	120	△42.2	105	△47.9	85	△51.7	16 33
通期	9,200	4.8	220	△3.2	190	△16.9	150	△8.6	28 81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年10月期 1 Q	5,752,200株	25年10月期	5,752,200株
26年10月期 1 Q	546,000株	25年10月期	546,000株
26年10月期 1 Q	5,206,200株	25年10月期 1 Q	5,206,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年11月1日から平成26年1月31日）におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策への期待感や円高の解消、輸出産業を中心とした業績回復基調も見られ、景気は順調に回復基調にはあるものの、企業を取り巻く環境は業種による差も見られ依然として不透明な状況が続いております。

国内の雇用環境につきましては、厚生労働省発表の有効求人倍率は、平成26年1月で1.03倍、総務省発表の労働力調査によると、完全失業率は平成26年1月では3.7%と、各数値とも改善傾向にはあるものの、依然として大企業を中心とした人員削減の影響もあり雇用環境は楽観視できない状況にあります。

このような環境の中で、当社グループは、ITを軸とした12万5,000人の登録エージェントによるBPO事業の更なるサービスの品質・効率の向上、強化に取り組んでまいりました。

当社グループはBPO事業のみの単一セグメントとなっておりますが、事業の詳細については以下のとおりであります。

通信キャリアの新規顧客開拓や家電量販店での営業・販売支援サービスにおいては、海外PCメーカーの店頭販売支援サービスは底堅く推移したものの、家電量販店を中心とした販売支援業務においては販促費削減の影響が継続しており、厳しい環境が続きました。

ITに特化した導入・設置・交換支援サービスにおいては、スマートフォン・タブレット端末向けのキッティング業務や携帯電話・スマートデバイス無線通信の基地局案件に対する需要は多く、受注価格の競争は厳しいものの、引き続き堅調に推移いたしました。

主にIT周辺機器やインターネット接続に関わるヘルプデスクを提供する運用支援サービス（コールセンターの運営等）においては、依然として競争は厳しいものの、IT周辺のヘルプデスクのニーズは底堅く、安定的に推移いたしました。

また、平成25年6月に本格稼働致しました福岡コンタクトセンターについても、受注、引合とも増加しており、稼働席数は順調に増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億56百万円（前第1四半期連結累計期間比5.9%減）、営業利益は49百万円（前第1四半期連結累計期間比31.8%減）、経常利益は53百万円（前第1四半期連結累計期間比22.3%減）、四半期純利益は39百万円（前第1四半期連結累計期間比24.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1億40百万円減少(5.1%減)し、25億86百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1億5百万円、受取手形及び売掛金が49百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、6百万円減少(0.9%減)し、6億44百万円となりました。これは、主として投資その他の資産が4百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1億46百万円減少(4.3%減)し、32億30百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1億14百万円減少(8.3%減)し、12億59百万円となりました。これは、主として短期借入金が30百万円、未払法人税等が17百万円、1年内返済予定の長期借入金が14百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、71百万円減少(10.0%減)し、6億42百万円となりました。これは、主として社債が50百万円、長期借入金が19百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、1億85百万円減少(8.9%減)し、19億1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、39百万円増加(3.1%増)し、13億28百万円となりました。これは、主として四半期純利益を39百万円計上したこと等によります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて2.9ポイント増加し、41.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、景気は回復基調にはあるものの、引き続き厳しい営業活動を余儀なくされるものと予想しております。当社としては、今後とも収益性を重視した営業活動を行うとともに、下記サービスの強化に努めてまいります。

- ・ W i n d o w s X P の入替案件に対するサポート体制の強化
 - ・ スマートフォン、タブレット端末、W i - F i 等のデジタル機器の導入支援サービスの強化
 - ・ 海外企業の日本進出のためのグローバルBPO事業の強化
 - ・ 12万5,000人の登録エージェントのスキルアップを目的とした研修の強化と稼働率の向上
- また、前期同様、更なるコスト構造の改善を進め、収益基盤の改善に取り組んでまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396,798	1,291,186
売掛金	1,172,365	1,122,585
その他	157,188	172,379
貸倒引当金	△224	△101
流動資産合計	2,726,129	2,586,049
固定資産		
有形固定資産	120,840	121,087
無形固定資産		
のれん	69,134	71,478
その他	58,525	54,624
無形固定資産合計	127,659	126,103
投資その他の資産		
長期貸付金	241,675	236,324
その他	472,079	467,482
貸倒引当金	△312,010	△306,821
投資その他の資産合計	401,743	396,985
固定資産合計	650,243	644,176
資産合計	3,376,373	3,230,225
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,025	88,997
短期借入金	220,000	190,000
1年内償還予定の社債	114,000	114,000
1年内返済予定の長期借入金	113,127	98,628
未払金	571,692	588,616
未払法人税等	27,541	9,693
賞与引当金	—	29,921
その他	234,926	139,258
流動負債合計	1,373,312	1,259,114
固定負債		
社債	365,000	315,000
長期借入金	206,000	186,014
その他	142,852	141,200
固定負債合計	713,852	642,214
負債合計	2,087,165	1,901,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,602	1,002,602
資本剰余金	108,359	108,359
利益剰余金	221,307	260,705
自己株式	△140,395	△140,395
株主資本合計	1,191,872	1,231,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,929	96,002
その他の包括利益累計額合計	96,929	96,002
新株予約権	405	1,622
純資産合計	1,289,208	1,328,896
負債純資産合計	3,376,373	3,230,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)
売上高	2,290,467	2,156,473
売上原価	1,816,389	1,724,894
売上総利益	474,078	431,579
販売費及び一般管理費	401,545	382,115
営業利益	72,532	49,464
営業外収益		
受取利息	63	2,513
受取配当金	652	652
貸倒引当金戻入額	6,749	5,311
賃貸収入	1,136	—
その他	2,207	1,033
営業外収益合計	10,808	9,510
営業外費用		
支払利息	2,897	3,894
社債発行費	8,126	—
支払保証料	1,312	1,422
賃貸収入原価	1,033	—
その他	1,032	57
営業外費用合計	14,401	5,374
経常利益	68,939	53,599
特別利益		
投資有価証券売却益	8,000	—
特別利益合計	8,000	—
特別損失		
固定資産除却損	10,739	183
特別損失合計	10,739	183
税金等調整前四半期純利益	66,200	53,415
法人税、住民税及び事業税	8,977	9,648
法人税等調整額	5,303	4,368
法人税等合計	14,280	14,017
少数株主損益調整前四半期純利益	51,920	39,398
四半期純利益	51,920	39,398

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,920	39,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,455	△927
その他の包括利益合計	17,455	△927
四半期包括利益	69,375	38,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,375	38,471
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはBPO事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。